

令和 8 年度 議会報告・意見交換会

1 開会

2 議会を代表しての挨拶

3 まちづくり委員会を代表しての挨拶

4 全体会〔議会報告〕

- (1) 議会報告・意見交換会の開催目的・意義
- (2) 議会の在り方検討委員会からの報告
- (3) 常任委員会からの報告

5 分科会〔意見交換会〕

分科会(担当常任委員会)	テーマ
第1分科会(総務委員会)	「環境文化都市の実現に向けて」
第2分科会(社会文教委員会)	「こどもが安心して地域と繋がり、自分らしく過ごせる居場所とは」
第3分科会(産業建設委員会)	テーマ「市民の生活の基礎を支えている第1次産業(農林水産業)を持続可能なものとしていくためには」 サブテーマ「遊休農地をこれ以上増やさないために」

6 まとめ及び総括(20:40)

- (1) 分科会報告
- (2) まちづくり委員会の代表者による感想、意見
- (3) 議会からの謝辞

7 閉会

『 暮らし**豊**かな いいだの**あす**未来を **市民**とともに 』
～ 市民のしあわせに貢献する議会 ～

<「議会報告・意見交換会」について>

議会報告・意見交換会は、議会の取り組みを報告させていただくと共に、市民の皆さんから直接伺った意見要望を起点とする政策サイクルの構築、もって市民益の向上につなげる目的で開催し、各地区まちづくり委員会に共催いただいています。

例年この時期に行い、市政の課題を把握することで次年度の予算審議にも活かしています。

□飯田市自治基本条例 第6章「議会の役割」から

(開かれた議会運営)

第 23 条第2項 市議会は、市民の意見を聞くため議会活動への市民参加を推進し、市民に開かれた議会運営に努めます

第 23 条第3項 市議会は、市民への議会活動の報告、市民との意見交換の場の開催等を通じ、前項が規定する事項の実現に努めます。

飯田市議会議員 名簿

役職	氏 名	所属会派	役職	氏 名	所属会派
議長	竹村 圭史	きぼう	副議長	清水優一郎	いいだ
総務委員会		社会文教委員会		産業建設委員会	
氏 名	所属会派	氏 名	所属会派	氏 名	所属会派
◎福澤 克憲	きぼう	◎下平 恒男	いいだ	◎小林 真一	公 明
○市瀬 芳明	共 産	○宮脇 邦彦	公 明	○小平 彰	いいだ
岡本 恒和	いいだ	水月 レイ	きぼう	大平 雲龍	きぼう
岡村 弘子	公 明	森本 紘司	いいだ	正木 利幸	いいだ
片町 元彦	きぼう	松岡 秀治	きぼう	野崎 直仁	無会派
佐々木博子	いいだ	長谷部春生	きぼう	遠山 雄	きぼう
関島 百合	きぼう	古川 仁	共 産	清水 勇	きぼう
清水優一郎	いいだ				

◎は委員長、○は副委員長

会派名表示:会派名 / きぼう:会派きぼう / いいだ:新政いいだ / 公明:公明党 / 共産:日本共産党 / 無会派

今後の議会の取組について

— 市民の声を生かし、議決機関・審議機関としての機能を高める —

目指す議会の姿（3つの取組の流れ）

市民の声を起点に、議員が学び、議論し、調査研究を通じて政策につなげ、その結果を市民に返していきます。

1

学び・考える （議員個人）



市民の声を受け止め、
地域の課題を知り、調べ、
学び、考える

2

議員同士で議論 （全議員）



それぞれの問題意識や
知見を持ち寄り、議論を深め、
議会として取り組むべき
課題を見出す

3

調査研究・政策形成 （各常任委員会）



見出した課題について
各常任委員会で調査研究を行い、
さらに議論を深めて
政策提言等につなげる

特に ② 議員同士で議論 が、① で得た学びを ③ の政策形成につなぐ重要な役割を担います。

市民の声から見えた3つのテーマ（いただいた567件のご意見をもとに協議しました）

1

市民と議会の 関係性の再構築



もっと市民に開かれ、
身近でわかりやすい議会を
目指します。

2

議会の在り方



市の課題を的確に議論し、
政策につなげる
議会の役割を高めます。

3

議会と議員の関係性



議員一人ひとりが学び、
議員間で議論し、市民の声を
政策につなげる力を高めます。

各常任委員会の令和7・8年度所管事務調査の概要

<総務委員会>

総務委員会「環境文化都市の実現に向けて」

「環境文化都市」は、平成8年4月、飯田市第4次基本構想策定時に20～30年先の飯田市の都市像として生まれた言葉。約30年前から全国に先駆けて環境を政策の柱とし、日本・世界が今の時代となることを予測し、行動してきたことを飯田市の誇りとして再認識すること、現代社会が直面している地球温暖化という課題に正面から向き合い、次の世代に引き継いでいくことを創造していくことが大変重要と考え、総務委員会では「環境文化都市の実現に向けて」をテーマとして掲げ、所管事務調査に取り組んできました。

飯田市のこれまでの取り組みを基盤としつつ、持続可能な地域社会を実現していくため、市民の皆さんの生活の現状、さまざまな分野における「環境」の視点を共有させていただきながら、市政への提言へつなげていきたいと考えています。

【これまでの取組】

- 先進地視察
- 現制度・補助金等学習会
- リサイクルステーション現状調査
- ごみの分別状況調査（組成調査）
- ごみの搬入状況視察
- 各地区まちづくり懇談会（19地区実施）
- 環境衛生事業組合との意見交換会など



【意見交換の内容】

- 生活において身近なごみの問題について（分別・集積所など）
- 再生可能なエネルギー、リサイクル等について
- 環境に関する地域の好事例について（公園清掃、里山保全など）
- その他地域のさまざまな課題について（地域コミュニティ、防災・減災、組合活動など）

MEMO

<社会文教委員会>

所管事務調査テーマ 「地域の未来を生きるこどもたちの居場所は」

これまでの調査概要

◆管内視察（令和7年度、8年度）

・感環自然村 ・子どもの森ネットワーク ・松尾あかり保育園・児童クラブ

◆管外視察（令和7年度）

・岐阜県関市「子ども食堂等の活動及び支援について」
・滋賀県草津市「フリースクール利用児童生徒支援生活補助金について」
・大阪府堺市「公益財団法人しらさぎ育英基金様の活動について」
（運営する子ども食堂、図書館について）

◆管外視察（令和8年度）

・長野県長野市「ながのこども館 ながノビ！について」
・長野県千曲市「部活動の地域展開について」
・新潟県村上市「部活動の地域展開について、総合型インクルーシブスポーツの実施について、村上市屋内遊び場について（廃校を利用した遊び場、児童保育等）」
・富山県黒部市「すべての小学校区での、放課後子ども教室の開設について」

◆児童クラブ等の館長及び放課後児童支援員との意見交換

・上郷児童クラブ ・竜丘児童センター ・三穂児童クラブ

◆こども食堂運営者との意見交換

・親子応援食堂おあがりて（上郷）・夢かなえ食堂（鼎）・橋南りんごっこ食堂（橋南公民館）

◆令和8年飯田市議会第3回定例会 社会文教委員会代表質問

◆今後 調査を元に委員間で協議を重ね、市長に対し政策提言を行う予定。

<産業建設委員会>

1.調査項目「持続可能な農林水産業」について

【調査の視点】

・人口減少、少子高齢化が加速度的に進む中、本市の特徴である「山里街の暮らし」が少しずつ崩れ始めていると感じている。ただ草木が生い茂っていれば「自然豊かなところ」とはならず、山里街に人の手が入り管理されてきたからこそ「自然豊かな山里街の暮らしがある飯田市」が築かれてきたのではないか。

【今年度の具体的な意見交換テーマ「遊休農地をこれ以上増やさないために」】

・このテーマについて農業従事者だけではなく、地域に暮らす全ての人が知恵を出し合い、市民がより農業を我がことと捉える意識や文化の更なる醸成を目指したい。

【令和7年度からこれまでの取組】

・調査項目に関連した協議会勉強会の実施と、農業関連先進地へ管外視察の実施

2. 調査項目「飯田市水道事業経営戦略の見直し(水道料金の改定)」について

【調査結果】

・料金改定に関しては、経営戦略の見直しに係る議会としての視点や論点を整理した上で、第3回定例会に上程された料金改定の議案を慎重に審査した。
・審査の過程から苦渋の判断だが「可決」とした。
・可決にあたり激変緩和策の検討を求めるなどの付帯決議及び国への意見書を提出した。

MEMO

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.